



通信

HP 学校だより
R7. 6. 12
NO. 10
文責 伊藤美佳



プール開き

10日（火）の朝会でプール開きを行いました。前日に東海地方は梅雨入りし、雨のプール開きとなりました。

プール開きと言っても、朝会でプールでの学習に対する説明や注意点をお話するといったものです。かつては、プールサイドに全校集まって、プールを清める様子を見たり、高学年が見本として泳ぎ初めをしたりしたことを思い出しました。コロナ禍でプールに入れない時期がありました。入れない時期を低学年に経験した子どもたちは、水に抵抗があるように感じます。水泳の授業で、泳ぐ楽しさや水の中の世界のおもしろさを体験できるといいなと思います。

また、水の恐ろしさについても伝えました。陸上では考えられないことが水の中では起こること、その際にパニックになることで事故につながってしまうことを伝えました。ルールを守って安全に楽しく水泳の授業ができることを祈りつつ、プールの四隅に塩をまいてお清めしました。

1年生の学校探検

入学して2ヶ月が過ぎ、1年生も学校生活に慣れてきました。生活科の学習で、大きく育ってきたアサガオに水をやったり、学校探検をしたりする姿を見かけると、成長を実感します。11日には、学校探検で校長室や職員室を訪問した班がありました。「どんな仕事をしていますか」「これは何ですか」「先生の名前を教えてください」など質問をしてメモをとっていました。校長先生と呼ばれることが多い中で、名前でも呼んでもらえてとてもうれしい気持ちになりました。

探検する際に、入室するマナーや言葉づかいなども学んでいて、頼もしく思いました。



本の紹介

梅雨に入り、外で遊べない日が続いています。部屋で楽しめるものと思い、朝会で1冊の本を紹介しました。題名は『世界でいちばん貧しい大統領のスピーチ』です。

ウルグアイのホセ・ムヒカ大統領が国際会議でスピーチをされた内容を絵本にしたものです。本の中で、「貧乏とは、少ししか持っていないことではなく、かぎりなく多くを必要とし、もっともっととほしがることである」という一文を子どもたちに紹介しました。その後、興味をもってきて校長室に本を借りに来てくれた子もいました。

環境問題を学びながらも、子どもたちにとって自分事になっているかは疑問です。読書をきっかけに、「人間にとって、何が大切か」子どもたちが自分の周囲の環境や自分について考えるきっかけになればと思います。